

平成31年度 学校自己評価

基本方針 安心安全で生徒職員ともに元気な学校、生徒の長所を引き出し社会から信頼される学校づくりを目指す

重点目標	具体的目標
1 基本的生活習慣を確立させるとともに、規範意識の醸成を図る。	(1) 生活指導 ①基本的生活習慣の確立 ②ルールの遵守、マナーの向上 ③身だしなみ指導の徹底 ④元気なあいさつ・返事
2 基礎基本の学力定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に取り組む。	(2) 学習指導 ①授業規律の徹底 ②授業力の向上、授業改善（主体的・対話的で深い学び） ③家庭学習の定着
3 キャリア教育の一層の充実を図るとともに、大学入試改革への対応を図る。	(3) 進路指導 ①キャリア教育の推進 ②就職指導の充実 ③進学指導の充実と大学入試改革の研究
4 部活動や特別活動などへの積極的な参加を促すとともに、外部人材の活用や地域貢献を図り、円滑な人間関係や素直な心と感謝の気持ちを育む。	(4) 部活動及び特別活動 ①部活動の充実 ②学校行事の充実 ③生徒会活動、委員会活動の充実
5 教職員間のコミュニケーションや連携を図りながら多忙化を解消する。	(5) 勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害の防止 ①業務の適正化 ②確実・適切なメンタルヘルスの保持 ③年次休暇の計画的な取得を促進する環境整備 (6) その他 ①環境美化 ②ボランティア活動の推進 ③積極的な情報発信 ④創立 80 周年行事に向けての準備及び実施（令和元年 11 月）

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
総務	①PTA 活動をより充実させる。	PTA 活動の様子を保護者に向けて積極的に発信する。	・プリントでの連絡に加え、メール配信サービスを活用して参加を呼びかける。参加人数は、のべ 229 人以上を目標とする。（4 月在籍数 229 名）
	②創立 80 周年行事に向け、内海高校の魅力を内外へ発信する。	従来からあるホームページや学校案内に加え、新たな情報発信方法を考える。	・ホームページのタイムリーな更新を継続しつつ、他分掌との連携を図り、内容を一層充実させる。 ・創立 80 周年行事と関連を持たせ、情報発信していく。
教務	①落ち着いた学習環境を作り、基礎基本の定着を図る。	授業規律の確保に努め、生徒が落ち着いて授業に向かえる環境を作る。	・年度当初から授業を受けるルールを生徒に周知し、学年及び学校全体で規律ある授業への姿勢を育成する。 ・週末や長期休暇において課題を課し、生徒の家庭学習の時間を確保する。
	②教員の授業力向上、授業改善を図る。	生徒の学習実態を把握し、わかる授業を研究する。	・学習アンケートなどから、生徒の学習状況や学習内容の理解度を把握する。 ・基礎基本を定着させ、少しずつでも達成感を得られるような指導内容や指導方法を工夫する。 ・授業参観や研究授業を通して、教員相互の研修を行う。

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
生徒指導	① 基本的な生活習慣の確立	欠席・遅刻を減少させる。	・各月に集計結果を提示して、全職員で欠席 3.0・遅刻 1.0（在籍生徒一人当たりの数値）未達の数値目標達成を図る。（H30：欠 4.2/遅 1.5）
		皆勤者の増加を図る。	・皆勤率の向上を目指す。数値目標は全学年とも皆勤者 1/3 以上とする。
	② ルールの遵守、マナー向上	ルール・マナーを遵守し、TPO に応じた行動ができるよう促す。	・「内高生が守るべきルール・マナー」を活用し、意識高揚につなげる。 ・常に面接試験に臨める身だしなみと丁寧な言葉遣いを意識させる。 ・校内外を区別せず「公共」を意識した行動を身につけさせる。
		③ 学校行事、部活動の活性化と充実	生徒が充実感・達成感を得られる工夫をする。
	④ いじめのない安心安全な学校生活	部活動への参加率向上を目指し、やめさせない工夫をする。	・毎日指導に当たることを目標に、会話や指導を通して信頼関係を深め、生徒のやる気を引き出す。 ・自主的で充実した活動を通じて、自己肯定感を育ませる。
		スクールカウンセラーと連携し、いじめ事例に組織的に対応する。	・些細な兆候を見逃さず、アンケート調査を行うなど未然防止、早期発見に努める。また、いじめ問題に関して全職員が高い意識を持つ。 ・SNS の利用において、ルールやマナーの遵守を徹底し、その態度や行動を醸成する。
	真面目な生徒が損をしない環境を作る。	・自己都合を優先した周囲への迷惑行為に対しては、厳しく対応し、その場面場面をとらえ自分を見つめる機会を作る。	
進路指導	① 進学指導・就職指導を充実させる。	進学・就職両面において、生徒の基礎学力の向上の工夫と教員間の情報の共有化をしっかりと図り、適切な指導ができるようにする。	・進学と就職両方の指導に関して、個々の希望に応じた適切な指導をする。また、ST ネットや補習や模擬試験を有効に活用させ、基礎学力の向上を図る。 ・就職指導として、教員間で事業所に関する情報の共有を図り、早い時期から生徒の希望と受験先のマッチングを意識した指導を行う。また、昨年度に引き続き、夏期対策講座の充実を図る。
		② 低学年から進路意識を持たせる。	進路行事を積極的に活用する。

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
保健厚生	① ボランティア活動の継続と充実	特別養護老人ホーム訪問ボランティアと、清掃ボランティアについての活動を継続する。	・「大地の丘」訪問ボランティアにおいて、生徒が主体となって活動できるように、持込み企画を充実させる。 ・「地域とあゆむ」清掃ボランティアにおいては、河和駅周辺まで場所を広げ、動内容の充実を図る。 ・看護・福祉の仕事を目指している生徒を積極的に体験させることで、キャリア教育としても活用する。

	②生徒委員会活動の充実	美化委員会の活動で生活環境に対する意識の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>美化委員を中心に年間3回の清掃道具の点検を行い、物を大切にすることを養うとともに、充実した清掃活動を行える状況をつくる。</li> <li>校門の花壇に季節の花を植えたり、除草・水やりの当番を決めて整備を行うことで、気持ちの良い学校環境をつくる。</li> <li>エコキャップを分別回収し、社会貢献の意識を高める。</li> </ul>
		保健委員会の活動で自らの身体や、健康情報に関心をもたせるように工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の興味を引くため、保健委員を中心に話し合い、学校保健委員会において、本校の健康課題である「性のあり方」について取り上げて、正しい知識を身につけさせるための工夫をする。</li> </ul>
	③相談活動の充実	スクールカウンセラーと連携し、相談活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プライバシーに配慮して、丁寧に相談活動を実施する。</li> <li>学年を中心に情報を共有し、生徒の学校生活を支援する。</li> </ul>

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
1 年	①規範意識の高揚、基本的生活習慣の確立	自分を見つめ自分を理解して自己の見直しを図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>話を確実に聞ける態度を養うために、まずは話を聞く姿勢を確立する。また、話を聞いて理解し、行動につなげることが大切であると意識できるようにする。</li> <li>自ら考えて行動できる力を養うとともに、皆勤者の増加(30%以上)と遅刻回数の減少を図り、社会に適応する能力を高める。</li> </ul>
		ルール・マナーをしっかり守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習環境を整えるために、授業規律の理解と徹底を図る。</li> <li>集団を意識できるような声かけを生徒に行うことで、ルールとマナーの周知徹底を図る。</li> <li>言葉遣いを正し、礼儀にかなった行動をとれるように言葉かけをしていく。</li> </ul>
	②学習習慣の充実	提出物・課題の提出期限を守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の提出期限を守り、課題の未提出者ゼロを3学期までに目指す。</li> </ul>
		基本的学習習慣をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校設定科目「基礎数学」、総合学習の「黒潮」を通じて社会に必要な基礎学力をつけ、各定期考査では欠点者を減らす工夫をする。</li> </ul>

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
2 年	①周囲から信頼される生徒の育成	ルールとマナーをしっかり守り、規範意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習環境を整備し、授業規律の理解と徹底を図る。</li> <li>社会規範を自覚できるよう声かけをし、社会に出ても通用する規範意識を育て、ルールとマナーの周知徹底を図る。</li> </ul>

		時間や期限を確実に守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間と期限を意識した行動が、集団を意識した行動につながることを理解させ、社会に適応する能力を高める。</li> <li>生活習慣を整え、欠席、遅刻をさせず、皆勤率の向上(30%以上)を目指す。</li> <li>課題などの提出物の期限を守る。</li> </ul>
	②コミュニケーション能力の育成	コミュニケーションの第一歩である挨拶を大切に	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員から挨拶や声かけを積極的に行うことで、明るく元気な挨拶や素直な返事をできるようにする。</li> <li>時、場所、状況に応じた正しい言葉遣いを意識させる。</li> </ul>
		話を聞いて理解した上で行動する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>他人に関心を持ち、他人の話を聞き、理解した上で生徒自ら主体的に行動できるようにする。</li> </ul>
3 年	①進路目標の実現	基礎基本を大切にし、基礎学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いた学習環境が前提となるので、授業規律の確保に努める。また、日頃から集中して話を聞く姿勢を確立する。</li> <li>帰りのSTの時間に基礎学力向上のためのプリント学習を行う。</li> <li>日々の授業の成果である定期テストにおいて、欠点保有者を減らす。</li> </ul>
		就職希望者に対し、就職意識を高めさせ、就職指導を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路相談週間、個人面談、進路ガイダンス、進路対策講座などを有効活用する。就職後1年以内の離職率を0とするために、より一層生徒の就職に対する意識を高めていく。</li> </ul>
	②信頼される社会人として必要な能力や習慣の育成	皆勤率の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>皆勤の意義を説き、その実現に向け努力を促す。数値目標は皆勤率30%以上とする。</li> </ul>
		身だしなみルールの徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段からこまめに声をかけて、常に面接試験に臨む身だしなみを意識させる。また最上級生として、下級生の見本となる意識を高める。</li> </ul>
		コミュニケーション能力の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>最高学年として明るく元気な挨拶や素直な返事ができるように学年全体で促す。</li> <li>言葉遣いに気をつけさせる。社会にでたときに、自然と場に応じた話し方ができるようにする。</li> </ul>